

【月刊HMレポート：Vol. 200】 2018年5月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



働き方の“脱”自己流を求めるべき時

## 社内の標準業務意識が士気をも変える

◆◆◆ 誰にでもできる業務を注視すべき時 ◆◆◆

### ◆本レポートの内容◆

- |                          |    |    |
|--------------------------|----|----|
| 【1】誰にでもできる業務は逆に“質の維持”が困難 | …… | 1頁 |
| 【2】求められるプロ意識より優先されがちな自分流 | …… | 2頁 |
| 【3】業務標準を十分に意識して来なかった反動か？ | …… | 3頁 |
| 【4】評価や批判を嫌う現代人が積極的に求めるもの | …… | 4頁 |
| 【5】立ち止まって“知恵の共有”時間を作るべき時 | …… | 5頁 |

“誰にでもできるはず”の“当たり前”業務には、あえて厳しいチェックを入れないのが普通かも知れません。しかし、上司や先輩の“背中”を見ながら自分を鍛えるという“文化”が薄れた昨今では、当たり前が当たり前でなくなりつつあるとも言えるのです。

たとえば、その傾向自体が問題ではなくとも、それがミスや非効率ばかりではなく、その当人の“スキルアップ”の邪魔をするような時、事業成果自体を左右する重大事になってしまうかも知れません。



## SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : [info@jinjiken.co.jp](mailto:info@jinjiken.co.jp)

- SPC 労務管理センター TEL:052-331-0844 FAX:052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL:052-331-0845 FAX:052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。